

旭硝子株式会社 2014 年度 12 月期 第3四半期決算 主な質疑応答

広報・IR 室

【全社】

Q1. 通期の業績見通し達成のため、第4四半期に営業利益の改善を見込んでいますが、事業ごとの改善要因を教えてください。

A1. ガラス事業は、日本や欧州での建築用ガラスの値上げや構造改善の効果を見込んでいます。電子事業は少し弱含む可能性はありますが、化学品事業は医農薬中間体・原体などが需要期のため出荷が増える見通しです。

Q2. 今期の設備投資見通しを200億円減額しましたが、何を減らしたのかを教えてください。

A2. 成長投資を抑制しているわけではなく、優先順位を考慮して投資を削減する見込みです。

【ガラス】

Q1. 第3四半期の欧州建築用ガラス事業の状況を教えてください。

A1. 出荷は前年同期比横ばいで推移しました。価格は全地域で第2四半期以降改善しているものの、東欧では引き続き前年同期と比べて低い水準となっています。また、構造改革施策の効果もあり、収益は前年同期比で改善しました。

第4四半期はオフシーズン入りするタイミング次第ですが、10月と11月は需要期でもあるため、出荷増を期待しています。

【電子】

Q1. 液晶用ガラス基板の前四半期比の出荷、価格動向を教えてください。

A1. 2014年第3四半期の出荷数量は1桁後半%の増加、価格は1桁前半%の下落となりました。

Q2. ディ스플레이用特殊ガラスの状況を教えてください。

A2. 主な用途のひとつであるタブレット市場の不調や競争環境激化などの影響で、通期の売上は前期を下回る見込みです。ただし、来期には改善を見込んでいます。

以上